

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[木津川市立木津南中学校] 担当教諭名[宮原 麻美] (美術部 12名)


交流相手国[アメリカ]

海外学校名[John Adams Middle School] 担当教諭名[Jen Joyce]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクトで世界とつながろう	78

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Dreams are Forever 「夢は永遠に」
絵に込めたメッセージ	日本とアメリカ、それぞれの土地で私たちの祖先は暮らし、そして私たちがいて、未来には子孫が暮らしていきます。それぞれの時代で、大切なものは何だろう？ 共通点があるにではないか？ 永遠につながる夢は？ その問いかけについてみんなで考えました。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
美術部としてのアートマイルも5年目となった。先輩たちの活動を見て、残った壁画の資料を見ることで、今まで以上に良いものを作りたいという意欲が見られた。また、相手校が市の交流都市で毎年交換留学生の取り組みをやっており、今年度美術部部長が夏休みに相手校を訪れたので、よりいっそう親近感をもって交流することができた。昨年に引き続き、生徒たちの自主性を尊重して進めていった。今年度は部員の人数が少なかったが、全員がしっかり制作に取り組めて良かった。生徒たちは完成した壁画にすごく達成感と満足を感じたようだ。昨年と同様に、新聞社2紙も取材に来て下さったが、生徒たちは、自分達の思いを説明する姿が誇らしそうであった。	壁画の制作は、ほぼスケジュール通り進んで良かった。メールやPC室の使いづらさなど、学校側の設備環境の課題もあった。後半は、ICT支援員のサポートもあり、スムーズに全員がフォーラムを見ることができて助かった。AETの先生も翻訳等で、サポートしてくださったが、AETの先生がおられないときのやりとりが、どうしても遅れがちになってしまった。今年度も You-tube やスカイプのテレビ会議が出来ず、とても残念だった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
学校だよりや、修了式で全校に知らせた。完成した壁画が届いた時は、新聞2紙が取材に来てくれて、掲載してくれた。	校内の壁画展示は、生徒や教師たちからも出来映えが素晴らしいと、よい反響があった。新聞の掲載を見て、地域から壁画を見せて欲しいと来校された方があった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	春	前年度同じJAMSと共同制作した壁画を新学期から掲示したので、1年生も壁画を鑑賞することができた。	1年生は、とても興味をもって先輩たちの作品を見て、感心していた。	部活動
情報収集	秋	図書室で調べ学習。	昨年度と同じ学校との交流ということで、精神的にゆとりがあった。部長が夏休みに交換留学生で、向こうの学校を訪問していたので、興味関心が高まった。	部活動
テーマ検討	秋	3年生も含めてテーマの候補を各自が持ち寄り、検討して一つのテーマにまとめた。その後各自が壁画のアイデアスケッチを描いて持ち寄り、一つの原案にまとめていった。	それぞれが、自分以外の案をとっても興味深く見て、お互いに良い評価をされていた。人数が少ない1年生も、自分の意見をしっかりと伝えられていた。	部活動
制作	冬	12月に入って本格的に制作に入った。昨年度の経験があるので、2年生が見通しをもってスムーズに進めていた。休日半日制作を2日した。相手校の希望で、1月初めに発送した。	休日の活動は、じっくり制作に取り組めるので、生徒たちは喜んでいて、自分達で役割分担をやり、昨年度よりもスムーズに進められた。	部活動
鑑賞	春	相手校より、鑑賞に時間が欲しいということだったので、了解した。インフルエンザで小包開封が遅れた。新聞2紙が取材に来てくれた。	ほぼ全員の見守る中で小包の開封を行った。壁画の出来映えが素晴らしく、皆感激していた。壁画裏面のメッセージもAETが訳して紹介してくれ、喜んでいて、アメリカのお菓子も好評だった。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	3	図書館での調べ学習では分担したので、個々の活動が主で、全体の交流や理解まで深められなかった。
異文化の理解	B	4	向こうの学校からビデオが You-tube で送られてきて、リアルな学校生活を知ることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	今回も自己紹介カードを英語で書いた程度で、ビデオ制作やテレビ会議が出来なかったから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	2	コンピュータ室のネット利用や印刷がしづらかった。後半 ICT 支援員のサポートもあった。次年度この課題を一番に克服したい。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	3	部内では普段より会話が増え、相談や評価の場面が多く見られた。交流相手とのコンタクトは不十分だった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	実際の制作に関わっては、生徒主体で進めさせた。自分たちで役割分担をして、協力しながら進められた。
学習を追究する意欲	B	4	2年生は前年度の経験をもとに見通しが持てた。また、過去の先輩たちの壁画作品を見て、自分たちはよりよい作品を作りたいと意欲的に取り組んでいたから。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	自分たちのイメージする世界を、共同制作で確認しながら表現することができた。表現方法や技法も工夫していいいに仕上げられた。
作品を鑑賞する力	B	4	同じテーマでも、表現(塗り方、陰影のつけ方、色調など)が違うことに新鮮さを感じていた。自分たちが作品に込めた思いを、向こうの生徒が受けとめてくれた実感があったようだ。予想以上の仕上がりに、とても感激していた。

